

# 別海町郷土資料館だより

No. 84・2006・7

## ふるさと講座第2回目のご案内

### 自然系「コウモリ観察会」

- 日時** 平成18年7月24日(月)  
午後6時30分～午後8時30分(雨天決行)
- 場所** 奥行臼駅通所(別海町奥行15番地12)
- 講師** 根室市歴史と自然の資料館  
主任学芸員 近藤 憲久 氏
- 募集人員** 25名(児童・生徒は保護者の方と一緒に参加してください。)
- 申し込み受付期間**  
平成18年7月23日(日)まで。
- その他**
1. 虫除けスプレーとヘッドライト(お持ちでない方は懐中電灯)を持参してください。
  2. 当日は現地(奥行臼駅通所)集合になります。車は国道沿いにある駐車場に止めてください。



昨年好評だったコウモリの観察会を今年も行います。日没後に行動を開始するコウモリの姿を普段見かけることはまずありませんが、実は別海町には1万頭を越えるコウモリが棲息していると考えられています。道指定文化財奥行臼駅通所にはウサギコウモリとホオヒゲコウモリが棲みついでおり、夜になると餌を求めて飛び立つので、そこを狙って捕獲します。捕獲したコウモリは学術調査のための詳しい記録を取って再び放しますが、その間を利用して講師の方に解説していただきながら観察します。鳥のように自由に飛び回ることのできる唯一のほ乳類であるコウモリの姿を、この機会にぜひ、間近で見てくださいませんか?

### 歴史系「野付半島の遺跡見学会」

- 日時** 平成18年7月9日(日)  
午前9時～午後12時(雨天中止)
- 集合場所** 野付半島ネイチャーセンター
- 講師** 別海町郷土資料館 学芸員 石渡 一人
- 募集人員** 15名
- 申し込み受付期間**  
平成18年7月8日(土)まで。
- その他**
1. 長靴を履いてきてください。また虫除けスプレーの持参、帽子の着用をお勧めします。
  2. 雨天の場合は中止とし、参加予定者に電話連絡いたします。
  3. 当日は現地(野付半島ネイチャーセンター)集合、現地解散になります。



野付半島の中央のオンニクルの森には擦文時代と思われる竪穴式住居跡があり、古くから先人たちの暮らしがあったことがわかります。また半島先端には江戸時代に設けられた通行屋を中心とする数々の遺跡があります。今回の見学会では、バラエティーに富んだこれらの遺跡を巡りながら野付半島の歴史についてわかりやすく解説いたします。

**申込方法** 自然系・歴史系ともに郷土資料館へ電話・FAX・メールにて、住所、氏名、電話番号をお知らせください。

## ふるさと講座 自然系第1回目

### 野付半島で2度目、30年振りの ハジロクロハラアジサシを観察！

6月25日(日)に自然系「四季の野鳥観察会」が、野付半島で行われました。講師は、上西春別中学校教諭の藤井薫氏で、この時期観察できるタンチョウ・アオサギ、1972年に日本で最初に野付半島で繁殖していることが確認されたアカアシシギをメインに竜神崎～先端部にかけて観察会を行いました。観察出来た野鳥は22種類で、特に野付半島で2度目、30年振りのハジロクロハラアジサシを観察することが出来ました。15名の参加者は、貴重な鳥の観察、野付半島の雄大な自然を満喫した1日となりました。



### 別海町郷土研究会からのお知らせ

当会は、平成13年度に設立され別海町の歴史や自然などの郷土研究を目的とした会です。今年度活動の一貫として小サークル「別海町を歩く会」として、町内にある風蓮湖の歴史・自然を1年間を通して、調査する予定です。下記の通り実施していますので、参加希望の方は郷土資料館までご連絡ください。

期 日 毎月第2・4の水曜日  
時 間 午前9時～12時  
集 合 解 散 別海町郷土資料館  
7月の予定 5日・26日

## 寄贈資料紹介～南部鉄瓶



栃木県足利市の小林博明さんより寄贈していただきました。この鉄瓶は、1930(昭和5)年10月1日に別海村で実施された第2回(全国では3回目)国勢調査時の記念品で、おそらく調査員などに配られたものと思われます。「南部鉄瓶照光堂」の刻銘があり、南部鉄瓶の特産地である岩手県盛岡市の照亦製作所(現在も盛岡市で鉄瓶の他、様々な工芸鉄器を製造しています)で製造されたことがわかります。

小林さんはたまたま骨董品店でこの鉄瓶を購入しましたが、「私が所有しているより別海町民の皆様に拝見していただいた方が喜ばれると思います」との手紙を添えて当館に送ってくださいました。

めぐりめぐって別海に里帰りした鉄瓶を第一展示室に展示していますので、是非ご覧ください。(文責 戸田博史)

### 郷土資料館のお知らせ(7月)

- 休館日 1日・2日・10日・15日・16日・17日  
24日・29日・30日
- 開館時間  
午前9時～午後5時(入館は午後4時30分まで)
- 観覧料  
一般個人 300円 一般団体(10名以上) 240円  
高校生以下は無料となります。

別海町郷土資料館だより No.84

発行日 平成18年7月1日

発行所 別海町郷土資料館

別海町別海宮舞町30番地

電話 0153-75-0802(FAX兼)

e-mail kyoudo@betsukai.gr.jp

編集後記 豊原の芳賀信一さんが『謎の殖民軌道 聞き書き春別線始終記』を自費出版されました。上春別と中春別の間に敷設された馬車鉄道春別線が、公式記録とは異なり戦中の混乱期に忽然と姿を消した謎の歴史を、数多くの聞き取りと調査によって浮き彫りにした労作です。図書館にありますので是非ご一読を。(戸田博史)